

## ●遊水地内の利活用

阿武隈川上流遊水地群において、**地域振興に資する持続可能な地内利活用**の方向性等を検討し、地内利活用方針をとりまとめることを目的に、「阿武隈川上流遊水地群地内利活用検討会」を設置しました。

利活用の検討にあたっては、全国の遊水地や河川敷地において、快適でにぎわいのある水辺空間が創出されている様々な利活用事例を基に、**民間との連携も含めた検討**を進めています。

また、地内利活用の一環として、**掘り下げた遊水地内の農地利用**が技術的に成立するか、**試験ほ場による実証実験**に取り組んでいます。



▲試験ほ場（第二遊水地内）

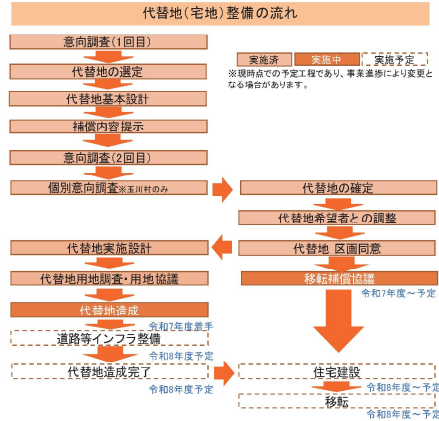
## ●代替地(宅地)の整備

阿武隈川上流遊水地群の整備による**家屋移転対象者の生活再建**に向け、特に移転家屋数の多い鏡石町及び玉川村に、それぞれ2箇所の**集団移転先の代替地\***を国が整備するなど、**移転対象者の負担軽減**に努めています。

これまで、対象者への意向確認や説明会等を行い、令和6年度には、**全ての集団移転対象者との調整を完了**しています。

令和7年度には、**代替地の造成**に着手しています。

※集団移転先の**代替地の選定**は、**地域の要望を踏まえ自治体で決定**しています。



## ●情報発信(福島河川国道事務所ウェブサイト)

「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」の対策内容や進捗状況等については、**福島河川国道事務所ウェブサイト**よりご確認ください。



進捗状況等については、  
こちらをご覧ください

プロジェクトの  
詳細については、  
こちらをご覧ください



国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所  
福島県福島市黒岩字榎平36 TEL024-546-4331(代)

# 阿武隈川

## 緊急治水対策プロジェクト

令和7年度版

本川・支川の抜本的な治水対策と  
流域対策が一体となった防災・減災対策



国土地理院撮影(2019/10/13)



国土地理院撮影(2019/10/13)



国土地理院撮影(2019/10/13)



国土地理院撮影(2019/10/13)



国土地理院撮影(2019/10/13)



福島河川国道事務所  
Fukushima Office of River and National Highway





## ●阿武隈川上流遊水地群の整備

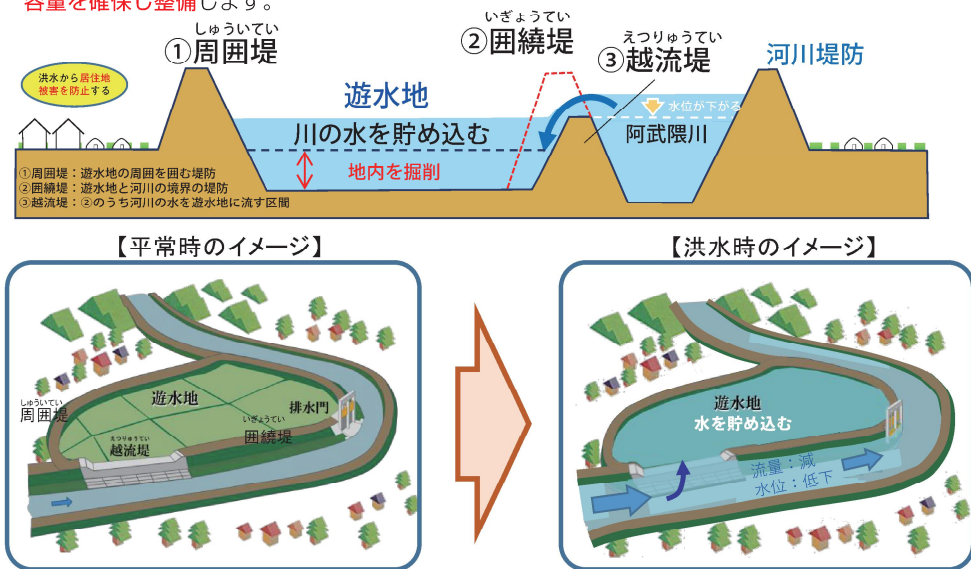
令和元年東日本台風による甚大な被害を踏まえ、浸水被害軽減に向け、阿武隈川上流（鏡石町・矢吹町・玉川村）に新たな遊水地群を整備中です。



注) 今後の検討結果等により、変更となる可能性もあります。

## ●遊水地の役割

遊水地は、洪水時に川の水を一時的に貯め込み、地先と下流側の水位を下げ、浸水被害を軽減します。阿武隈川上流遊水地群は、地権者の皆様から貴重な土地を提供いただいた上で地盤を掘り下げ容量を確保し整備します。



## ●阿武隈川上流遊水地群整備の進捗

氾濫しやすい地形特性を踏まえ、計画的に治水効果を発揮させ、令和元年東日本台風と同規模の洪水に対応できる治水対策として鏡石町・矢吹町・玉川村に阿武隈川上流遊水地群を整備中です。



平成23年9月洪水

令和元年東日本台風

「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」に基づき、概ね15年間で整備します。

概略工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
測量 ・遊水地範囲検討	→													
事業計画の検討 ・計画規模	→													
調査・設計 ・地質調査など ・遊水地関係施設	→													
用地調査 ・測量 ・土地価格の算定	→													
用地協議 ・用地協議、補償	→													
工事 (埋蔵文化財調査含む)	→													

家屋移転・土地の提供等をいただく皆様を含め、地域の方々のご理解・ご協力により、令和4年10月から用地協議に着手しています。



## ●阿武隈川緊急治水対策プロジェクトにより期待される効果

「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」の治水対策を実施することにより、令和元年東日本台風と同規模の洪水が発生した場合、事業実施前と比べて「河道掘削と阿武隈川上流遊水地群の整備」により水位を低下させ、堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の低減を図ります。



【阿久津水位観測所地点(郡山市)の水位低減効果】

